

## 第2回市島地域市立小学校統合準備委員会次第

日時：R3.10.5（火）19:30～

場所：ライフピアいちじま研修室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 地域ヒアリングまとめ
- 4 市島地域小学校 想定される統合のパターン
- 5 自由討議
- 6 その他
- 7 次回委員会の日程について
  - ・日 時 月 日（ ）19時30分～
  - ・場 所
- 8 閉 会

—MEMO—

A series of horizontal dashed lines for writing.

# 地域ヒアリングまとめ

## 統合の形態

### ● 5校→1校

<意見>

将来的に児童が減少すれば再度統合協議を行う必要があり、一度に1校にしたほうがいい。

### ● 5校→2校

<意見>

- ・ 5校→1校の統合は施設整備等で時間がかかってしまう。
- ・ 認定こども園の関係性を維持でき、幼小連携教育も図りやすい。
- ・ 昔の竹山中学校・山東中学校の範囲なのでイメージがつきやすい。

### ● 5校→3校

<意見>

まずは児童が少ない2校（前山、鴨庄）を統合し、児童数が減少した場合に更に統合を進めていくのはどうか。

### ● その他意見

児童数は今後も減少することが予想されるため、将来的な形も見据えて統合の形を考えたほうがいい。

## 統合の時期

### 「できるだけ早く統合をするべき」

<意見>

- ・ 既に鴨庄小では複式学級が生じている。
- ・ 男女の人数の割合が偏っている学年がある。
- ・ 将来的に1人学級になることが予想される年代があり、その子が入学するまでには統合をするべきである。
- ・ 令和5年または6年には統合を実施してほしい。

<参考>

保護者アンケートの中には統合に前向きではない意見も見られた。

## 現状に関して

- ・ 多くの子どもたちの中で学ばせてあげたい。
- ・ 少人数学級で教員の目が行き届いた教育をしてもらえるのはメリットである。
- ・ 少人数学級では性格が合わない児童がいた場合、逃げ場がなくなってしまう。
- ・ 社会性を身に付ける段階において、クラスに数人しかいないのはリスクがある。
- ・ こども園が同じなのに小学校で離ればなれになるのは可哀想。
- ・ 最近の子どもも競争心がなく、それは学校が少人数であることにも原因があるのではないか。

## その他の意見・要望

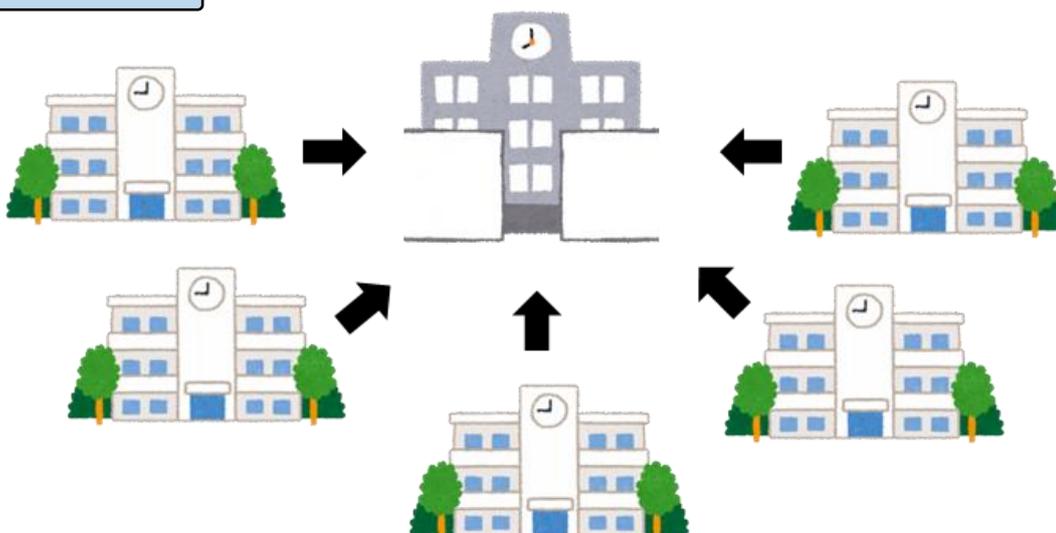
- ・ 将来的に1校となる可能性があるならば、2校や3校になる統合を行う際には施設整備は行わず、経済的な方法を取って欲しい。
- ・ 統合した場合は教員の定員を増やして欲しい。
- ・ 統合して校区が広くなった場合、今のように地域からの支援を受けられるか不安。
- ・ 廃校舎の活用もしっかり考えて欲しい。
- ・ 統合をすることによって小学校区を単位とした行事等を開催しづらくなるのではないか。
- ・ 統合を見据えた児童や地域の交流についても考えてほしい。
- ・ 分校方式を取れば複数の地域で児童を学ばせることができるのではないか。
- ・ 事務局から具体的なパターンやシミュレーション、青写真のようなものをして欲しい。

## 市島地域小学校 想定される統合のパターン

### 1 「5校→1校」にする統合

対象	市島地域5小学校
児童数	388人（各学年2学級）※R3.3末時点
想定される統合場所	未定（協議による）
統合時期	統合に関する具体的な事項が決定してから4～5年後
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育校や義務教育学校にすることで中1ギャップを解消し、9年間を見通した連続性のある教育が可能となり、生活と学習面の両面から系統的、継続的な指導が期待できる。</li> <li>・各学年2学級以上の規模となり、国の適正規模の基準を満たすことができる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な施設整備が必要になる。</li> <li>・統合場所の決定や校歌・校章の決定など多くの調整事項が生じ、統合協議に時間を要する。</li> <li>・遠距離通学支援（スクールバス等）の調整が必要である。</li> </ul> <p>⇒<u>早期統合の希望に応えられない。</u></p>

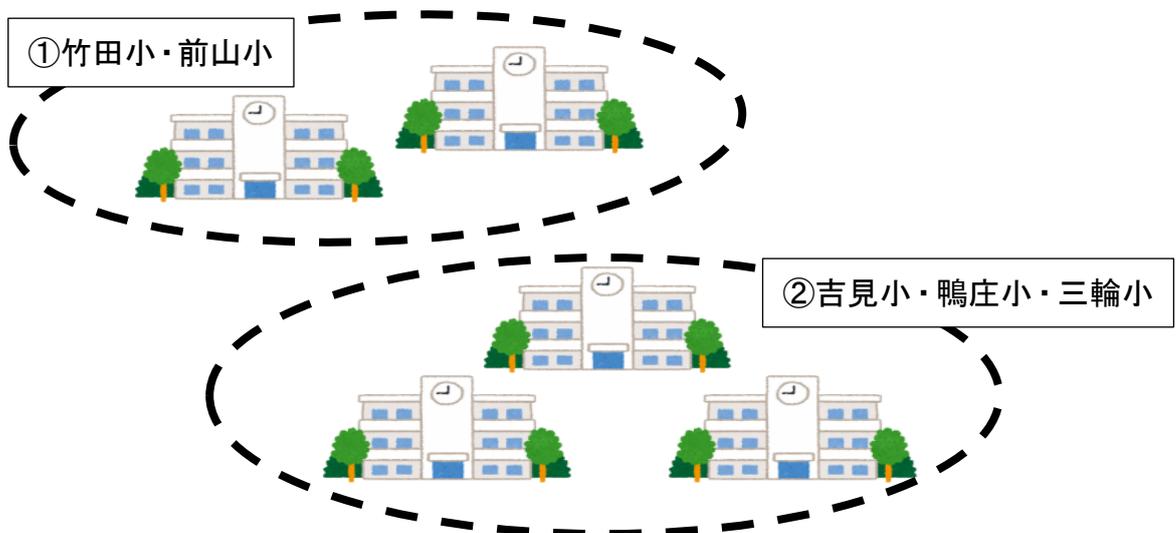
#### イメージ



## 2 「5校→2校」にする統合

対象	①竹田小・前山小
	②吉見小・鴨庄小・三輪小
児童数	①160人（各学年1学級）※R3.3末時点
	②228人（各学年1～2学級）※R3.3末時点
想定される統合場所	①竹田小学校
	②吉見小学校
統合時期	①最短で令和5年又は令和6年
	②施設整備を最小限とする場合は令和8年度以降、それより早く統合を希望する場合は改築や増築が必要となる。
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5校→1校にする場合に比べて大規模な施設整備は不要で早期に統合を実現できる。</li> <li>・認定こども園単位で統合することで、幼小連携教育を実施しやすい。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・②で早期の統合を望む場合、現況の校舎では普通教室が不足するため、校舎の改修又は増築が必要となる。</li> <li>・校名の変更（校歌・校章を含む）を伴うと早期統合は難しくなる。</li> <li>・遠距離通学支援（スクールバス等）の調整が必要である。</li> </ul>

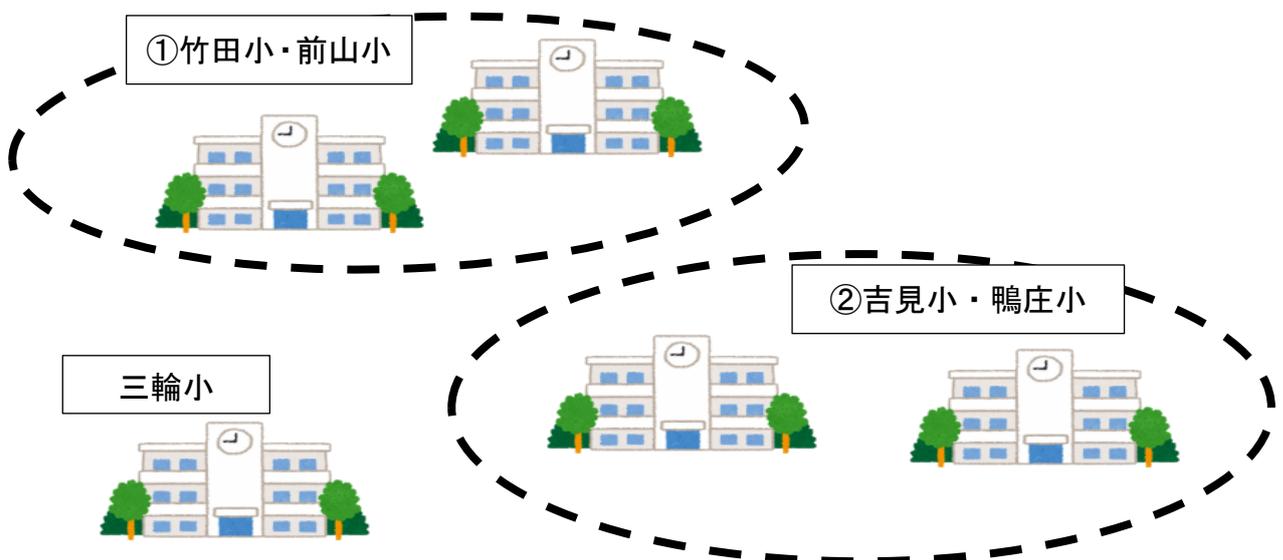
### イメージ



### 3 「5校→3校」にする統合

対象	①竹田小・前山小
	②吉見小・鴨庄小
児童数	①160人（各学年1学級）※R3.3末時点
	②147人（各学年1学級）※R3.3末時点
想定される統合場所	①竹田小学校
	②吉見小学校
統合時期	①最短で令和5年又は令和6年
	②最短で令和5年又は令和6年
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況校舎で必要な教室数を確保でき、施設整備が不要である。</li> <li>・想定されるパターンの中で最も早く統合を実現できる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学支援（スクールバス等）の調整が必要である。</li> <li>・校名の変更（校歌・校章を含む）を伴うと早期統合は難しくなる。</li> </ul>

#### イメージ





# 市島地域内丹波市立小学校施設の現況

## 竹田小学校

	建築物	階数	建築年度	改修工事等実施年度
	校舎	3階	H1	H30 空調整備
	屋内運動場	1階	H1	

※H26プール改修

## 前山小学校

	建築物	階数	建築年度	備考
	校舎	2階	H15	R10 改修設計実施予定 ※西校舎分の改修
	屋内運動場	2階	H3	

※H26プール改修

## 吉見小学校

	建築物	階数	建築年度	備考
	校舎	3階	S58	H26 大規模改修(エレベーター) H30 空調整備
	屋内運動場	2階	H20	
	屋内運動場(音楽室)	1階	H20	

※H20プール改修

## 鴨庄小学校

	建築物	階数	建築年度	備考
	校舎	3階	S42	H9 大規模改修 H30 空調整備
	屋内運動場	2階	H10	

## 三輪小学校

	建築物	階数	建築年度	備考
	校舎	2階	H5	R1 空調設備 R10 改修設計実施予定
	屋内運動場	2階	H6	

## 市島中学校

	建築物	階数	建築年度	備考
	校舎	2階	S45(教室棟) S46(特別教室棟)	H21 大規模改修(耐震) H22 大規模改修(エレベーター) H30 空調整備
	屋内運動場	2階	S46	H23 大規模改修(耐震)